

幼研だより

【発行所】

久留米市幼児教育研究所
久留米市荘島町11番地1
(総合幼児センター2階)
電話(0942)35-3812
創刊:昭和54年5月15日

今回は、幼研の発達支援以外の事業を紹介します。

【久留米市幼保小合同研修推進事業】

● 目的

就学後の環境の変化に対する戸惑いを軽減し、幼児が幼稚園・保育所生活で学んできたものを十分に発揮し、小学生としての更なる成長を果たすことができるよう、幼保から小学校への円滑な移行のあり方を構築していく。

● 今年度の研究テーマ

「年長から小1までの接続を意識したカリキュラムの構築」

● 今年度の取り組みについて

今年度は、幼保小の接続を意識した実践と、映像資料等を活用した実践事例に係る協議に取り組みました。市内140施設中135施設が実践記録を作成し、ブロックごとの連携担当者会において小学校区でのグループ協議ができました。

● 合同研修会

1月27日、久留米市内の幼稚園や保育所、小学校等の先生方161名にお集まりいただき、幼保小合同研修会を行いました。久留米大学助教諫山先生の講話を聞いたり、ゆりかご保育園さんの実践動画をもとに小学校区ごとのグループで協議したりして、幼保小の連携や接続について理解を深めました。合同研修会のアンケート結果等も記載した今年度の事業報告書データは、今月市内保育所等や小学校140施設に送信いたします。

〈講話要旨〉

- ・幼児教育と小学校教育には、目標設定や教育方法など根本的な違いがあり、それぞれの特徴を理解した上で接続を図る必要がある。
- ・国の方針に基づき、年長4月から小学校1年生3月までを見通したカリキュラムの構築が求められている。
- ・カリキュラムの作成そのものよりも、作成過程での対話が最も重要である。お互いの教育方法やこどもの見方の理解を深め、小学校区内での教育・保育の相互理解を促進していく。

次年度は、校区ごとに「期待するこども像」を決めるなど、対話をしながらカリキュラムの構築に向けて研究を進めていきたいと思えます。

【お知らせ】

久留米市幼保小合同研修推進事業の一つとして、小学校生活について紹介する「にじのかけ橋」は、リーフレット版(簡易)と電子版(詳細)を作成し、リーフレット版を市内の年長児に配布しています。電子版は、幼児教育研究所のホームページでご覧いただくことができます。

